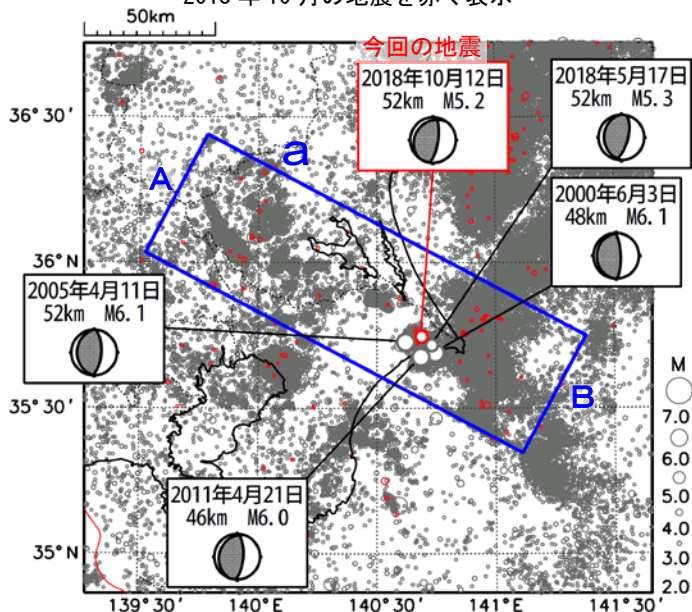


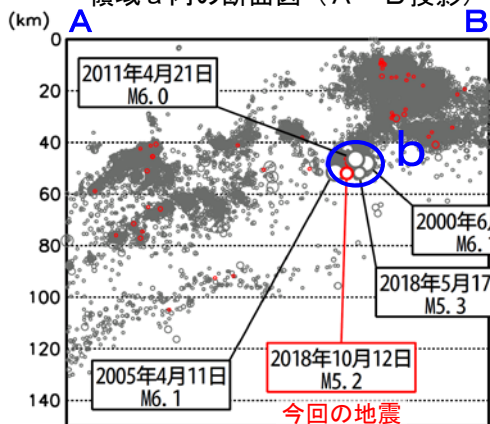
10月12日 千葉県北東部の地震

震央分布図

(1997年10月1日~2018年10月31日、
深さ0~150km、M≥2.0)
2018年10月の地震を赤く表示

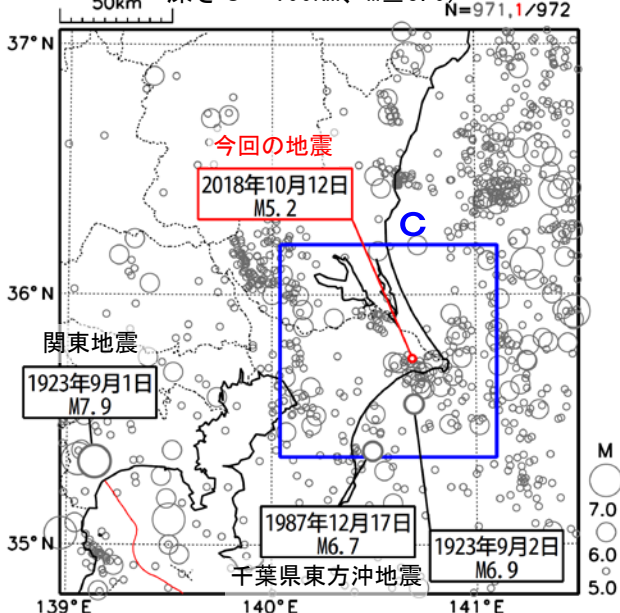


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

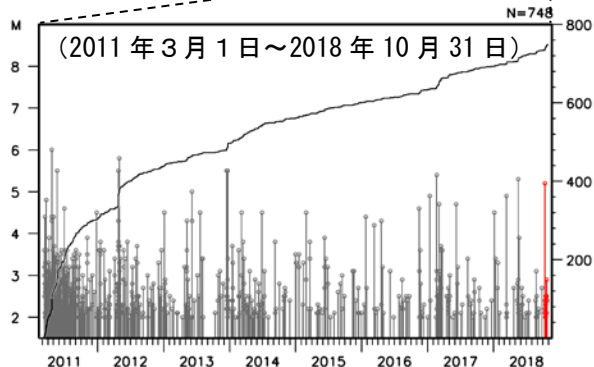
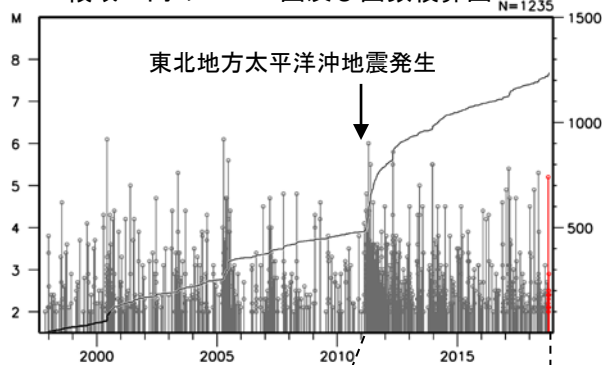
(1923年1月1日~2018年10月31日、
深さ0~100km、M≥5.0)



2018年10月12日13時15分に千葉県北東部の深さ52kmでM5.2の地震(最大震度4)が発生した。この地震は発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。最近では、ほぼ同じ場所で同年5月17日にM5.3の地震(最大震度4)が発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M6.0以上の地震が時々発生しており、東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動が活発になった。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6程度の地震が時々発生している。1987年12月17日に発生した千葉県東方沖地震(M6.7、最大震度5)では、死者2人、住家全壊16棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域c内のM-T図

